

8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	山中	参加 メンバー	CL:吉村絢 SL:山中徹 山中ちゆき
		報告日	9/12		
山 域	伊吹山、美濃北陸	山行日	12年 8月 16日 (木) ~		
山 名	伊吹山 (1377m)		12年 8月 17日 (金)		
山行目的	夜間登山練習&ご来光		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



8/16 (木) 晴れ
9:15 金山駅発
10:50 登山口駐車場
11:33-45 1合目休憩
0:05 2合目
0:40-48 3合目休憩
1:01 4合目
1:14-30 5合目休憩
1:47 6合目
2:07 7合目
2:34-42 8合目休憩
3:09 頂上 (食事) (5:18 ご来光)
5:45 下山開始
6:47-7:00 5合目休憩
8:10-20 1合目休憩
8:40 駐車場戻り



〈山行報告〉 初めての「夜間登山」に興奮しつつ、駐車場に到着。登山口付近の駐車場は割高 (1000 円) なので、近くの民家の駐車場 (500 円) に停めさせてもらう。料金支払いは、下山時でもOK。神社で登山の安全を祈願した後、いざ出発。いきなり岩が多い道に前途多難を予想しつつ歩みを進める。登山開始が早かったせいか、登山をしているのは我々だけのように感じた。恐怖心を無視して暗闇の中をひたすら登った。1合目に民宿のような集まりがあったので、そのテーブルをお借りして休憩。夜空には満天の星が輝く。単調な上りが続くので、3合目まではきつい。吉村さんが「山岳部の先輩達は、体力強化のために歩荷で伊吹山に登られる」と言っていたのが理解できる。心まで鍛えられそうである。夜間なのに汗が噴き出る。でも、振り返ると、琵琶湖畔の美しい夜景が気分をフレッシュにしてくれる。5合目を過ぎたあたりから、気温が下がってきた。体感温度は23℃くらいか。汗を吸った上着が冷たくなり、体力の消耗を感じる。相変わらず汗をかき続けているが、重ね着をして体を温めたら楽になった。8合目の祠の前で休憩した後、一気に頂上を目指す。頂上では日本武尊が迎えてくれた。静かで他の登山者の気配を感じなかったが、よく見たらテントが2、3あった。頂上で食べるラーメンは、なぜか美味しい。塩分と水分を同時に補給できるからか。5時18分、天気予報どおりに「ご来光」が始まる。雲が多くて心配していたが、その隙間から美しい太陽が見えてきた。沢山の雲もその美しさを演出してい

るように思える。写真が趣味の山中は、「やっぱり一眼レフを持ってればよかった」と後悔しつつも、持参したカメラで写真を撮りまくる。レアな時間の風景は、誰が撮影してもそれなりに綺麗に撮れる。「富士山のご来光」に人気があるのが、よくわかる。ご来光の後、暑くなる前に下山開始。快調に下山を進めるも、途中で膝が痛くなりペースダウン。やっぱり、伊吹山はきつい。ネット情報の「初級」は誤りだ。



3合目からの写真

山奥夫妻に斬見て、過去に登った山の中では一番ハードな山だったと思うが、夜間登山だったので日中より体力消耗は少なかったように思う。ただ、山中さんは膝が痛そうだったのでサポーターの着用をオススメしたい。この日、夜間登山していたのは私たちと、1時間分ほど後ろにいた若い男性二人組のみ。もう少し人がいると思っていたので、何かが走り回って激しく鳴いているのが聞こえた時は、とっても怖かった。(後で鹿と判明)

伊吹山の全貌が見えるのは3合目辺りから。3合目までが結構きついで、さらにあの山に登るのかと思うと気持ちがめげるかも。でも夜間は山が見えないので、大丈夫。

確認
(リーダー)
吉
12/08/19
村
作成
(報告者)
山
12/08/18
中